

平成17年度第1回経営協議会議事要旨

日時 平成17年10月18日(火) 13:30~15:03
場所 事務局大会議室
出席者 (学外委員) 石井, 金岡, 北野, 示村, 橘, 館野, 東野, 中尾, 松井, 森, 山田
(学内委員) 西頭, 龍山, 八木, 近藤, 倉石, 小林, 南日, 小川
(オブザーバー) 山森, 松下
欠席者 (学外委員) 金川
(学内委員) なし

議事に先立ち, 学長から挨拶があった後, 学長から, 委員及びオブザーバーの紹介があった。

1 審議事項

- (1) 国立大学法人富山大学学則等学内規則について (資料 1)
学長から, 国立大学法人富山大学学則等学内規則について提案があり, これまで3大学の新大学創設準備のための関係部会, 推進委員会及び協議会において検討, 審議し, 10月3日開催の役員会及び教育研究評議会で審議し, 了承を得ている旨述べられ, 龍山理事から, 国立大学法人富山大学学則等学内規則(案)の概要について, 資料に基づき説明があった。
審議の結果, 国立大学法人富山大学学則等学内規則を原案どおり了承した。
- (2) 国立大学法人富山大会計規程(案)について (資料 2)
学長から, 国立大学法人富山大会計規程(案)について提案があり, 10月3日開催の役員会で審議し, 了承を得ている旨述べられ, 龍山理事から, 国立大学法人富山大会計規程(案)の概要について, 資料に基づき説明があった。
審議の結果, 国立大学法人富山大会計規程を原案どおり了承した。
- (3) 中期目標・中期計画(素案)について (資料 3)
学長から, 中期目標・中期計画(素案)について提案があり, これまで3大学の新大学創設準備のための関係部会, 推進委員会及び協議会において検討, 審議し, 10月3日開催の役員会及び教育研究評議会で審議し, 了承を得ている旨述べられ, 龍山理事から, 法人化後1年6月を経過していることから, 今後4年6月, 平成22年3月までのものであること及び中期目標・中期計画(素案)の概要について, 資料に基づき説明があった。
審議の結果, 中期目標・中期計画(素案)を原案どおり了承した。

[主な意見]

- ・現職教員の実践力を高めるための再教育や，内地留学の受け入れ体制を拡充してほしい。
- ・人間発達科学部の教員志望の学生に，教育現場の体験をさせるようにしてほしい。
- ・全学的視点からの戦略的な学内資源配分と評価を重んじる管理運営体制の構築を実現してほしい。

(4) 平成17年度年度計画（案）について (資料 4)

学長から，新大学設置後の平成17年10月から平成18年3月までの事業計画である平成17年度年度計画（案）について提案があり，これまで3大学の新大学創設準備のための関係部会，推進委員会及び協議会において検討，審議し，10月3日開催の役員会及び教育研究評議会で審議し，了承を得ている旨述べられ，龍山理事から，平成17年度年度計画（案）の概要について，資料に基づき説明があった。

審議の結果，平成17年度年度計画を原案どおり了承した。

[主な意見]

- ・教員の採用にあたり，任期制の導入を積極的に進めていただきたい。

(5) 業務方法書（案）について (資料 5)

学長から，国立大学法人富山大学業務方法書（案）について提案があり，10月3日開催の役員会で審議し，了承を得ている旨述べられ，龍山理事から，業務方法書（案）の概要について，資料に基づき説明があった。

審議の結果，国立大学法人富山大学業務方法書を原案どおり了承した。

(6) 富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定書（案）について

(資料 6)

学長から，富山県との連携を強化し，地域の課題に迅速かつ適切に対応し，地域のより一層の発展に資するため，連携協定を締結したい旨述べられ，富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定書（案）について提案があった。

また，石井委員から，新富山大学への期待（これまで以上に地域へ貢献する大学，先端的で特色ある研究，教育の推進による国の内外に発信できる国際水準の大学になってほしい）が述べられ，富山県と富山大学との包括的な連携協定を結ぶことについて，経営協議会の賛同を得たい旨の発言があった。

続いて，龍山理事から，資料に基づき協定書（案）の概要について説明があった。

審議の結果，富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定書を原案どおり了承した。

2 報告事項

- (1) 平成17年度予算について (資料 7)
龍山理事から、平成17年度予算の概要について、資料に基づき報告があった。
- (2) 平成18年度概算要求について (資料 8)
龍山理事から、文部科学省から財務省へ要求された富山大学に係る平成18年度概算要求事項の概要について、資料に基づき報告があった。
- (3) 富山大学と富山第一銀行及び富山銀行との包括的連携協力について
学長から、富山第一銀行及び富山銀行の両行から教育・研究の推進及び活力ある地域社会の発展を目指した「包括的連携協力の覚書」を取り交わしたいとの申し出があった旨報告があり、今後「包括的連携協力の覚書」を取り交わすための協議を始めることとしたい旨諮られ、了承した。

3 その他

学長から、本学の経営に関して意見を伺いたい旨述べられ、次のような意見があった。

芸術文化学部では、伝統文化を重んじた教育・研究を推進してほしい。
日本海、アジア等対岸諸国を対象とした日本海学の中央拠点となってほしい。
学生が憧れる大学、県民が誇れる大学になるよう力を注いでほしい。
専門教育の中にマルチな人間形成できるカリキュラム改革
情報発信の方法を工夫して全国発信できる仕組みを作してほしい。
先生方には研究面で自信をもってもらいたい。
研究とは突出したものでなければならない。
従前のものに囚われず改革してほしい
一般常識を備えた社会に通用する人間の育成
学生が楽しい大学になるような新しい行事の検討

- ・ 国際会議，全国会議の助成金の利用
- ・ 富山市民に対する公開講座受講助成制度の利用

以 上

【配 布 資 料】

- 資料 1 国立大学法人富山大学学則等関係規則（案）
- 資料 2 国立大学法人富山大会計規程（案）
- 資料 3 中期目標・中期計画（素案）
- 資料 4 平成17年度 年度計画（案）
- 資料 5 国立大学法人富山大学業務方法書（案）
- 資料 6 平成17年度3大学予算の概要（予算積算上）
- 資料 7 平成18年度概算要求事項